



ayus member

81

笠原

泰淳さん

浄土宗林海庵



笠原泰淳(かさはら たいじゅん)「ありがたい話」の受け売りではなく、ご自身が学んできたことを経験してきたことを血肉化して伝えてくれる人。心理学にも造詣が深く、カウンセリングなどのトレーニングをかなり積んでいる。その昔、「話を聞くことが一番の修行」と教わったそう。実は創立間もないころのアーユスに来たことがある。「アーユスの職員として働かせてもらうのがいいのではないか」と考えた師僧のはからいだったそうだが、僧侶としての経験を積みたかったため、アーユスの職員になることは断念したこと。

アーユスの会員さんにはパイオニアが多いのですが、今回ご登場いただく笠原泰淳さんもかなりの開拓者。浄土宗の国内開教使の第一号です。在家の出身で、大手企業に勤務していたにもかかわらず、三十歳を過ぎてから菩提寺の住職に弟子入りされています。さらに別の寺院で経験を積み、人口が増えているのにお寺が少ない東京の多摩地区で開教。温かい人柄と一人ひとりの人生を大切にする姿勢で、多くの人に慕われており、開教の成功例としてよく取り上げられています。

そんな笠原さんが仏教に関心を持ったのは、大学生のころ。人生に悩んでいたわけではなく、ユニークな先輩二人から、それぞれに仏教書を勧められたことがきっかけだそうです。それまでは「宗教は気持ちの弱い人のもの」と思っていた笠原さん、「こんな世界があったのか」と衝撃を受け、就職した後も禅やヨガなどを学びながら研鑽を深めていけます。しかし、次第に自力による瞑想実践に限界を感じるようになっていったそうです。

そんな時に出会ったのが、歩みの速度や習熟度などに関係なく、みんなと一緒にできる「なむあみだぶつ」。エリートでいわば「自力の人」だった笠原さんは、他力の仏教に惹かれていきます。しばらくしてお父様が病気で亡

くなり、人生の短さを思い知ったことで決心がつき、他力の仏教を志して仏門に入られました。

笠原さんの発心はいろいろな人の願いと合わり、多くのステップを経て、林海庵というお寺になりました。浄土宗のお寺が一カ寺もなかった多摩市で、血の通った仏教を伝え、多くの人と縁を結んでいます。お寺では、笠原さんの原点でもある「みんな、いつしよに、たのしく」が大切にされていて、お念仏の会や写経会を楽しみに遠くから通ってくる方もいるようです。

笠原さんが教えを伝えようとしているのは、お寺に来る人ばかりではありません。他力の仏教を必要としている人のために、開教当初から、ウェブでの発信に力を入れてきました。また、日本人ばかりを想定しているわけでもありません。「他力の仏教は、禅やチベット仏教と並んで、世界に伝えられるべきもの」とおっしゃる笠原さんは、英語でも教えを発信されています。

確かに世界には、他力の教えによってしか救われない人たちがいるように思います。それを裏付けるように、英語での問い合わせもよく届くそうで、その方たちとのやりとりによって気づくことも多いとのことでした。

林海庵
本堂外観



林海庵
本堂内観



実は私も笠原さんの英語のツイートに助けられた一人です。最近の仏教系のセミナーなどでは「ノンデュアリテイ（非二元）」の概念がよく出てくるのですが、日常生活を置き去りにしたまま話が終わることが多く、消化不良でした。そんな時に出会ったのが笠原さんの次のようなツイート。「浄土宗の教えはスーパードユアリズムであり、生活上の日常的な感覚と、ノンデュアリズムの崇高な理想の両方を包含する（原文は英語）」。私だけでなく、世界のあちこちで宙ぶらりんになっていた人たちも、この言葉で着地できたのではないかと思います。

さて、この日の取材では、アーユスの今後の取り組みのヒントとなるものにも出会いました。その一つが「お坊さん同士でもっと励まし合ってもいいように思うのですが」という笠原さんの言葉。アーユスもNGOに対しては「助け合おう、励まし合おう」と言っているのに、お坊さんに対しては「助けて、励まして」しか言っていないように思えます。世の中が複雑になっていて、一個人や一組織では対応できないことも増えている昨今、お坊さん同士の助け合いや励ましのプラットフォームになっていくのもアーユスの役割かもしれません。

（文責：三村紀美子）

アーユスの活動にご関心のある方、理念に賛同してくださる方、ぜひ会員になってアーユスを支えてください。

会員募集

アーユスは東京都より認定NPO法人として承認を受けています。当会への寄付は税制優遇の対象となります。

アーユスの活動を支えてください。

あなたの会費が世界で生かされます

- 世界各地で、地域の自立と平和と人権のための活動を支援します。
- 地道に取り組むNGOを支え、より良い活動をめざします。

アーユスの活動を活用してください。

あなたの地域や集まりを、世界とつなげませんか

- 遠い国のことをもっと身近に感じられると、世界が開けます。
- アーユスや関係NGOの人材・教材をご活用ください。

アーユスの仲間を増やしてください。

仏教に根ざして社会問題に取り組む人をご紹介ください

- アーユスの活動に関心があるお坊さんやボランティアを求めています。
- まずは教材を使ってみたい、場所を提供して下さるといような方も大歓迎。

年会費

- 特別賛助会員…10万円以上
- 法人会員…5万円
- 賛助会員…3万円
- 個人会員…1万円
- 学生会員…3千円

- 寄付・会費振込先
[郵便振替]
00120-3-711893 アーユス

資料請求、または入会をご希望の方はアーユス事務局までメール、電話、またはFAXでご連絡をお願いします。

会員になると・・・？

ほぼ2ヶ月に一度、機関誌「ayus」と各種イベント情報などをお送りします。お寺には、「国際協力の寺」という会員の章をお送りします。お寺の場合は、アーユスマップに載ります（任意）。法人会員、特別賛助会員の方には、毎年「感謝状」をお送りします。

メールはこちらまで。

E-mail : tokyo@ngo-ayus.jp

Web : <http://www.ngo-ayus.jp/>